



『転換期』

日本を含めて世界中の世の中が速いスピードでそれも予想外の展開で変貌しています。私たちはよく「歴史に学び、先人の知恵を知りなさい。」「歴史は繰り返す。」と教わりました。政治も今はポピュリズムが台頭し、情報世界も一瞬でトラブルを生じさせています。あまりにも不確実な世の中で足が地につかない状況だと危惧します。

建設業界も人手不足、中間層の欠落、価格もそれ言わんとばかり値上がりせざるを得ない状況です。本来の「ものづくり」からだんだんと心と技術が離れていく世の中が疎ましく思います。しかし、時代がどう変わろうとも若者の成長は目を見張るものがあります。若者に期待できる土壌つくりを今一度考え直す時期がきているのではないのでしょうか。そこから新たな考えが生まれ、活力がみなぎり、若者を応援する世の中を期待します。私自身も過去を顧みながら見果てぬ夢に進む姿に憧れます。

さて、先日「高橋英樹 生涯現役〜歴史に学ぶ〜」と題する講演会を聞きました。会場の演台の前に出て話す高橋氏の話し方、動作、所作はとて八十八歳とは思われませんでした。彼は、今までお世話になった諸先輩に感謝し、自分の体を鍛えることにより、自分自身がワクワクする精神を持ち続け、また周りの人に恵まれここまで生きてきたことに感謝しているようでした。皆努力して頑張っているんだと、勇気をいただいた講演でした。

令和六年七月二十五日

株式会社 ウイズアート

代表取締役 伊藤弘幸

たてもの見聞録

～ 福山城 in 広島県福山市～



福山城へ行って参りました。
広島県に住んでいながら初めての福山城でした。

元和(1622)8年8月、**水野勝成**が築城した福山城。

《 **全国唯一の鉄壁の城** 》

福山城最大の特徴として、北側以外の壁が漆喰の塗壁となっているのに対して、北側は5層を除く全面に鉄板を貼っています。

鉄板は縦130cm、横11.4cmを基本とする細長い板を横に並べ上下に並べる【羽重ね】です。

取り付けは、鉋頭のついた鉋釘で打ち止められており、板の左端と一段落した中央に打つことで、鉋頭が斜めにつながって並びます。また東西面の北端にも鉄板が張り付けられています。2022年の福山城リニューアルにおいて、表面の質感、鉋頭、上下の重ねの復元は行われましたが、建造物の安全性に配慮して、現代の素材、工法を採用しており鉄板の左右の重ねなどの復元は行ってないそうです。鉄板はJFEスチール株式会社から寄贈された約2000枚鉄板を使用したようです。

天守の展望台からは福山市内を一望できます。現在、世界的に有名な**照明デザイナーの石井幹子**さんがデザインした福山城のライトアップが行われています。また少し遠出を試みられたらいかがでしょうか。(T.M)

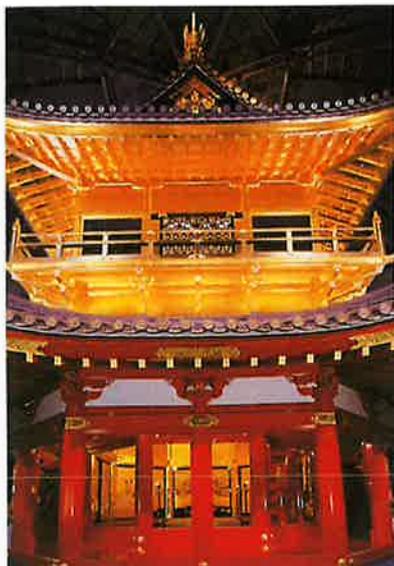


【羽重ね】



日本の「住まい(住舞)」

～ 屋根の歴史～



安土桃山時代 織田信長は天下統一の号令を発するため、**安土城**を築きました。権勢を誇るために築いた**天主**は、安土城が最初で、のちの**天守閣**の規範となりました。信長の後を受け継いだ秀吉が築いた大阪・伏見両城の**天守閣**は安土城にも劣らなかつたといわれ、諸大名が各地に築城、慶長年間(1596～1615)には、1年間で25の**天守閣**が築られました。**平安・鎌倉時代に需要の減った瓦**は、再び城で活路を見出しました。その後徳川幕府は諸大名の勢力を押える政策の一つとして、**一国一城令**をだし、築城も急速に衰退していきます。

【安土城天主】 (安土城天主信長の館HPより)

1992年、スペインセビリア万博博覧会の日本館のメイン展示として、安土城天主部分が原寸大にて復元されていた。万博終了後その「天主」を安土町が譲り受け解体移築し、新たに復元し**金箔瓦**をはじめとした瓦で葺いた5階庇屋根、天人の飛びかう様を描いた天井、最上部6階外観(金箔貼り)を増設、保存・展示している。

江戸時代 1635年に参勤交代が始まり、諸大名の下屋敷が建てられると江戸の人口も急増します。**武家屋敷**は、広い敷地で門を構え、塀を減らし**瓦葺**として屋根を飾りましたが、**町人の家は草葺や板葺**であったうえ密集していました。そのため度々火災に見舞われ、1657年の大火では江戸のほとんどを焼き尽くします。この後幕府は本来ならば瓦葺を奨励すべきところ、消火の際重い瓦が落ちて危険という表面上の理由で(実際は武家の格式を保つため)、**瓦葺の禁止令**を出します。60年禁止は続きますが、**八代将軍吉宗**の治世になって、**廃止**され、**瓦葺が奨励**されます。吉宗は**防火を徹底させるための壁を土蔵のように塗り込め、瓦を葺くことを義務付け**、瓦にも**拝借金制度**を設け一般市民にも適用しました。(拝借金:江戸幕府が大名や旗本などに無利子で貸与した金銭)こうして、民家にも瓦屋根が徐々に使われるようにもなります。(つづく)



皇居 2018.11 門をくぐる社長

【本瓦葺】 丸瓦と平瓦の2種類の瓦を交互に重ね並べていく葺き方。



H様邸屋根葺き替え 2021.9

【棧瓦葺】 一種類の瓦で葺く方法。

棧瓦の発明 1674年に西村半兵衛が創案したと伝えられる。本瓦葺より軽くて安い費用で作れる瓦はないかと考え、本瓦葺きの平瓦と丸瓦を一つにまとめることに気づき、作り方、葺き方を研究し完成させた。**現代の瓦屋根の一般的な葺き方**で、野地板の上に設けられた**棧木**に瓦をひっかけて固定し葺いていく。

～ 現代版 天守閣の屋根～

1909年(明治42年)に東宮御所として、**片山東熊**の設計により建てられた。しかし、御所として使用することはほとんどなかった。1967年(昭和42年)に迎賓施設とすることが決定し、**村野藤吾**の設計により、5年の歳月をかけて**迎賓館**が完成。2006年(平成18年)から2年をかけて大規模改修が行われ2009年(平成21年)明治以降の文化財として初の**国宝**となった。



赤坂迎賓館(東京)

2017.9社員旅行にて

屋根は銅板葺き



両サイドには銅鑄物の甲冑を付けた武者

～～世界平和記念聖堂～～



6月5日にウイズアートの安全総会を行いました。特別講演として、世界の人々の平和に対する思いが集結して建てられた「世界平和記念聖堂」について、聖堂の見学案内人をしておられる飯國清様をお迎えし、お話しをさせていただきました。

【世界平和記念聖堂】

戦前、1902年幟町に聖堂・伝道所・神父館が建設されました。1945年8月6日の原爆投下による被害で司祭館の基礎部分と正門の門柱だけが残りしました。自ら被爆し惨状を目の当たりにしたドイツ人のフーゴ・ラサール神父は世界平和記念聖堂の建設を決意します。日本を代表する近代建築家、村野藤吾氏に設計依頼し、1950年に着工。物価の高騰や建設資金も膨れ上がる中、聖堂建設資金への募金は日本だけでなく世界中に呼びかけられ総額1億円の寄付金が集まりました。完成には丸4年を費やし、1954年8月6日に献堂。鐘・扉・ステンドグラス・祭壇・パイプオルガン・洗礼盤等が世界各地から寄贈されました。被爆都市での先駆的な戦後復興建築物として2006年7月、国指定重要文化財に指定されました。



《 聖堂は4つのテーマで設計 》



【日本的】

鳥居・太鼓橋と池・欄間をイメージ



【宗教的】

三廊のバシリカ平面、十字架のある鐘塔

耐震補強・保存修理工事

2016年から2019年にかけて耐震補強、屋根や外壁の補修、ステンドグラスの修理など建築的な構造や外観、材料、建物の持つ文化的価値を損なわないよう保存修理工事が行われました。ステンドグラスには神経と集中力が求められる作業だったようです。射し込む光が明るくなり鮮やかになりました。



【記念的】

再臨のキリスト像・平和の鐘・パイプオルガン等、鐘塔の規模は建物の存在感を意欲させている



【健全なモダンスタイル】

鉄筋コンクリート造。装飾を排し、機能性を重視、シンプルで直線的なデザイン、新しい素材や技術の使用

講演の中で、ドイツから贈られた平和の鐘の音とパイプオルガンの演奏を聴かせていただきました。パイプの数が現在約3600本のオルガンは、当時東洋一とも言われたそうです。演奏者は鐘を贈ったと聞いている子孫の方で戦後70年(2016年)に来広され、演奏されました。鐘の音とパイプオルガンの音は世界の人々の平和の願いを奏でているようでした。

飯國様の案内では是非皆様も聖堂の歴史を感じながら見学されてみてはいかがでしょうか。



～ ウイズアートの現場から～



新築工事

施工中

【S(株)倉庫新築工事】
～山口県下松市～（竹本）



施工中

【(株)M工業倉庫新築工事】
～呉市～（竹本）



公共工事

2期工事完了

【広島県情報プラザトイレ改修工事】
3期工事が始まりました。（伊藤敬）



工場

【N株シャッター取替工事】
～安芸区～（伊藤敬）



After



テナント

Before



After

【Kプラザ5階復旧工事】～中区～（丸口）
備品等撤去後、クロス貼り替え・天井塗装をしました。



着工前



土間工事



UB取付完了



フィルム貼完了



水牛の角

【T様邸浴室増築工事】～安芸区～（伊藤）
能面を打つ庵の中庭に増築、UBを据付けしました。サッシにはフィルムを貼り、出征した兄の形見の水牛の角を飾っています。



Before



After

【Nパーキングトイレ改修】
～中区～（伊藤敬）
トイレ改修をしました。



着工前

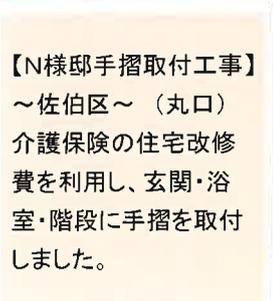


アパート解体中

【F様借家アパート解体及び
駐車場整備工事】（伊藤）
第1期、2期とさせていただき
最終の第3期工事も喜んで
いただきました。



完了



【N様邸手摺取付工事】
～佐伯区～（丸口）
介護保険の住宅改修
費を利用し、玄関・浴
室・階段に手摺を取付
しました。



玄関

介護保険改修

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業

ウイズアート
-Uizu Art-

広島市中区竹園町1-17 TEL.082-247-0062 ウイズアート広島 株式会社



EDION PEACE WING HIROSHIMA



Stadium Design Concept

The EDION Peace Wing Hiroshima was designed with the concept of "*Wings of Hope*" to harmonize with the city and to become a new symbol of Hiroshima as an international city of peace and culture.

The name "*EDION Peace Wing Hiroshima*" expresses the wish for lasting peace and spreading wings to a bright future with dreams and hopes.



⚽ Sanfrece Hiroshima History ⚽



On April 24, 1992, Sanfrece Hiroshima was born a professional soccer team based in Hiroshima City. It celebrated its 30th anniversary. They won the J1 championship three times. Their achievements will continue.



Question!!

Who is he?

💡 He was a player of Sanfrece. After managing the team, He is now directing All Japan soccer team.

A: Moriyasu Hajime

~Corporate Philosophy with Uizu Art~

Joy together, Support each other

General construction

First-class architect office



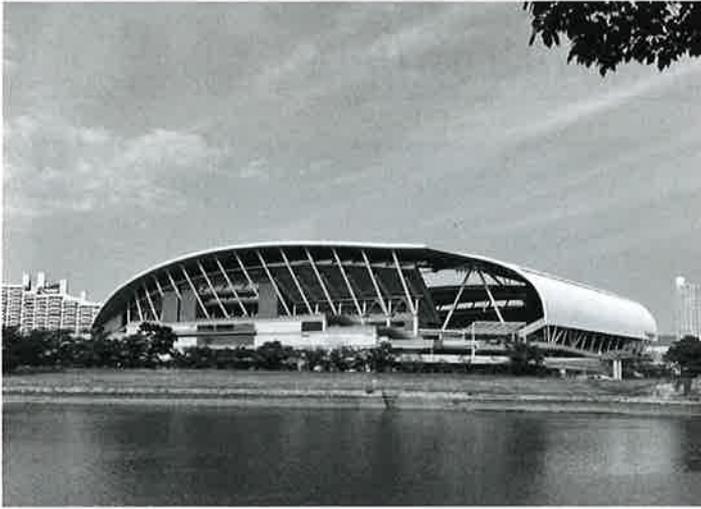
-Uizu·Art-



UIZU.ART
Instagram



ピースウイング広島



スタジアムのデザインコンセプト

エディオンピースウイング広島は、街と調和し、国際平和文化都市である広島の新たなシンボルとなることを目指して、「希望の翼」をコンセプトにデザインされています。

エディオンピースウイング広島の名には「恒久平和と、夢や希望を持って明るい未来へ羽ばたく」との願いが込められています。



建設中



完成



🏆 サンフレッチェ広島の歴史 🏆



1992年4月24日、広島市を本拠地とするプロサッカーチーム、サンフレッチェ広島が誕生しました。創立30周年を迎えました。J1優勝3回。その功績はまだまだ続きます。



彼は誰でしょう？
彼はサンフレッチェの選手であった。その後監督になり、現在は日本代表チームの監督である。

A: 森保 一